

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。  
 高尾山に住む人気者のムササビにあやかっつて、「のぶすま」とつけました。

# だいじなだいじな サクラです

みなさんもよくご存じのサクラ

そこには多くの生き物たちがやって来ます  
 サクラは生き物たちの命をつないでいるのです



ミツバチの仲間  
 花から花へ花粉や蜜を集める彼らは、大事な花粉の運び手です。



メジロ  
 花の蜜を吸いにやって来ます。



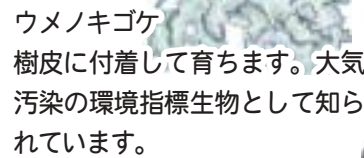
ヒヨドリ  
 花の蜜や果実が好物です。花粉や種の運び手になります。



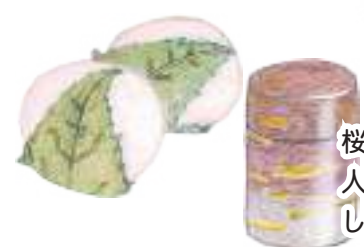
ガの仲間  
 幼虫は葉を食べます。こうした昆虫は他の動物の大切な食べ物にもなります。



アカネズミ  
 巣に食べ物を貯蓄する習性があります。食べ忘れの種が発芽することがあります。



ウメノキゴケ  
 樹皮に付着して育ちます。大気汚染の環境指標生物として知られています。



桜餅を包む葉・工芸品・木材の原料  
 人間も花見や食べ物、工芸や木材など、様々な目的でサクラを利用しています。

## ◆ サクラをとりまく生き物たち

### ◆ 花を食べる生き物

サクラは花粉や蜜を食べ物として動物に提供する代わりに、彼らに花粉を運ばせて、受粉を助けてもらいます。



ムササビ  
 枝を食いちぎって花や葉を食べます。食べ残しは地面へ落とします。

### ◆ 葉を食べる生き物

葉はサクラ自身の命を維持するために必要ですが、ガの幼虫には葉を食べてしまうものもいます。葉にある蜜腺は甘い蜜でアリを呼び寄せます。アリは他の昆虫などを捕食するので、蜜にやって来たアリは、サクラの葉の食害を防ぐ用心棒になるわけです。



アリの仲間  
 葉の生長による蜜腺の減少と、捕食対象の生長につれてアリの捕食は減っていきます。

### ◆ 実を食べる生き物

サクラは種が入った果実を動物に食べさせたり、運ばせたりすることで種を遠くに広めます。排泄や食べ忘れによって残った種が世代をつないでいくことになり、ハトの仲間もサクラの果実が好物ですが、種は砂嚢で粉々にされずに残る種もあります。



キジバト  
 砂嚢に入っている砂などで食べ物を消化します。消化されずに残る種もあります。

### ◆ 樹幹にすむ生き物

幹は生き物のすみかにもなります。ウメノキゴケは地衣類(菌類と藻類の複合的な生き物)の仲間です。樹皮や石の表面などで育ちます。立ち枯れになった幹は、キツツキの仲間などの巣に使われます。命を終えたサクラも、他の生き物の役に立っています。



コゲラ  
 樹木の枯木にくちばしで穴を開けて、子育てのための巣を作ります。

## 高尾山4コマ漫画 その14

### 解説員アラツの挑戦!

あまりにも人間的の巻

作・画: ばん



「のぶすま」は高尾山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。ご希望の方は窓口へお申し付けください。

季刊高尾ビジターセンターニュースレター  
 「のぶすま」 2010年春号Vol. 22  
 東京都高尾ビジターセンター自然解説員作成  
 2010年4月1日発行  
 所在地: 〒193-0844東京都八王子市高尾町2176  
 電話: 042-664-7872 FAX: 042-662-9926  
 URL: <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>  
 (カラー版最新号を閲覧できます)

◆購読の方法  
 80円切手と封筒(※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。)を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

# はる春の

## 高尾山自然研究路情報

今回のテーマは「桜」。

一言に桜といっても、種類によってその姿は少しずつ異なります。区別がなかなか難しいものもありますが、見分けがついてくると、今までとはまた一味違った桜の楽しみ方ができますよ！



### ◆桜を見るならどのコース？

1号路が桜の種類が多くおすすめです。道幅が広いので、お花見で混雑する時期も比較的自分のペースで歩けます。  
また、稲荷山コースと山頂～小仏城山の登山道でも桜の姿が楽しめます。両ルートとも山道なので、山の装備をしっかり準備しましょう。  
なお、桜は踏圧に弱い植物です。根元の土をあまり踏み固めないように気をつけたいものです。

### ◆1号路で見られる主なサクラ

	山麓 (高尾山口駅・清滝駅周辺)	ケーブルカー・リフト沿い	こんびらだい金比羅台	高尾山駅・山上駅周辺	薬王院	山頂～小仏城山
カンヒザクラ					●	
エドヒガン			●			●
ヤマザクラ		●	●	●	●	●
オオシマザクラ						●
カスミザクラ						●
ウワミズザクラ	●	●		●		
イヌザクラ		●				
ソメイヨシノ	●	●	●	●	●	●
シダレザクラ	●	●		●	●	
ジュウガツザクラ	●					
カワヅザクラ	●					
サトザクラ	●	●			●	

◆探してみよう！高尾山のサクラ区別のポイントは、開花時期や咲き方・色・形などです。開花の特徴には、種類によって、主に(A)花が先に咲く(B)花と葉がほぼ同時に出る(C)葉が出た後に花が咲くの3つがあります。

**(A)カンヒザクラ (寒緋桜)** 3月下旬  
鮮紅紫色の半開きの花が下向きに咲きます。沖縄の桜として、しばしば話題になります。

**(A)エドヒガン (江戸彼岸)** 4月上旬  
花の萼筒が丸く膨らむのが特徴です。名前は江戸に多く植えられ、春の彼岸の頃に開花したことから。

**(B)ヤマザクラ (山桜)** 4月中旬  
高尾山では最もよく見られるサクラです。古くは桜と言えば、本種を指しました。

**(B)オオシマザクラ (大島桜)** 4月中旬  
桜餅などを包む葉は、本種の葉を塩漬けにしたものです。花は白色で、ヤマザクラよりやや大振りです。

**(B)カスミザクラ (霞桜)** 4月中旬  
花咲く姿は春霞のよう。ヤマザクラやオオシマザクラと比べ、本種は花柄・葉柄が有毛のものが多いです。

**(C)ウワミズザクラ (上溝桜)** 4月下旬  
ウワミズザクラの仲間には、試験管ブラシのような白い花穂をつけるのが特徴です。

**(C)イヌザクラ (犬桜)** 4月下旬  
ウワミズザクラ同様、ブラシ状の花が咲きます。花の1つ1つの密度はウワミズザクラよりやや粗くなります。

**(A)ソメイヨシノ (染井吉野)** 4月中旬  
エドヒガンとオオシマザクラの交配種です。江戸時代末頃に染井村(東京都豊島区付近)で育成されました。

**(A)シダレザクラ (枝垂桜)** 4月中旬  
エドヒガンの園芸種で枝がしだれる種類を言います。ソメイヨシノとは一味違った風情があります。

**(A)ジュウガツザクラ (十月桜)**  
春(3月下旬)と秋(11月頃)に開花する二期咲きのサクラです。花は小振りの八重咲きで可愛いらしいです。

**(B)カワヅザクラ (河津桜)** 3月下旬  
カンヒザクラを片親とする自然交配種とされています。名前は静岡県河津町で発見されたことから。

**サトザクラ (里桜)**  
主にオオシマザクラをもとに開発された園芸種の総称を言います。開花時期などは品種により様々です。